

平成22年（2010）6月10日～14日

平成22年度（2010）

第1回出雲市議会（定例会）

一般質問通告一覧表

平成22年度（2010）第1回出雲市議会（定例会）一般質問通告一覧表 目次

6月10日（木） 10:00 開会			6月11日（金） 10:00 開会			6月14日（月） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	川上 幸博	1	1	多久和 康司	7～8	1	西村 亮	12
2	勝部 順子	1～2	2	杉谷 寿之	9	2	松村 豪人	13
3	高野 成俊	2～3	3	萬代 弘美	9～10	3	小村 吉一	13～14
4	遠藤 力一	3～4	4	米山 広志	11	4	飯塚 俊之	14
5	大国 陽介	4～5	5	珍部 全吾	11	5	板倉 一郎	14～15
6	狩野 正文	5	6	原 隆利	12	6	木佐 宏	15～16
7	広戸 恭一	6～7						

平成22年度（2010）

第1回出雲市議会（定例会）一般質問通告

質問者	14 川上幸博	質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 学校評価について	1. 評価制度が出来て2年になるが、どのような形で子どもたちに評価制度が反映されているのか伺う。 2. 出雲市の教育行政にどのような形で反映されているのか伺う。	教育長			
2. 出雲市の治水対策について	1. 昭和57年の放水路の基本計画同意条件は、履行されるのか市長の考えを伺う。 2. 島根県に対し、毎年重点要望が行われているが治水関連の要望が合併以後、5年間の項目と成果について具体的にお願ひする。	市長			

質問者	23 勝部順子	質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 出雲ドームで開催されてきた、出雲「花と緑」のフェスティバルの終了について	平成11年度から旧出雲市で開催され、市民の皆さんに愛され喜ばれてきた、出雲「花と緑」総合フェスティバルが終了になりました。 毎年4月29日（みどりの日）を中心に開催され春の行事として、多くの市民に愛されてきたイベントが終了する事を、3月になり新聞紙上で知りました。市民抜きで、このイベントが終了された事に、不満の声が寄せられています。 1. 終了を決められた理由について 2. 関係者への周知は、何時どのようになされたのでしょうか。理解は得られたのでしょうか。 3. 市民への周知は、何時どのようにされたのでしょうか。 4. 市主催・地域主催のイベントや、祭りに対する考え方（市からの支援など）	市長			

2. 障がい者対策について	<p>1. 重症心身障がい児（者）の方への対策について</p> <p>(1) 保護者の方のための、サロンの設置について</p> <p>(2) 障がいのある人の、きょうだいへの支援と対応について</p> <p>2. 発達障がいのある児童のための、デージー教科書の下学年本の提供及び指導教員への提供が可能との、文部科学省の事務連絡が出されているが、対応されているのでしょうか。</p>	市長	
3. 出雲市での「買い物難民」の認識と対策について	<p>経済産業省では、地域で買い物に不便を感じている人たちが急増しているといった地域の新たな課題に対応するため「地域生活インフラを支える流通のあり方研究会」を設置し、5月14日付で報告書を公開しました。</p> <p>研究会では、「買い物弱者」の増加などの問題解決のためには、流通事業者や地方自治体などが連携して事業実施することが重要であると結論されています。</p> <p>この「買い物難民」の問題は、過疎地域に限らず、大都市近郊の住宅団地でも深刻化しています。出雲市にとりましても重要な課題であると思います。現に、比較的便利な場所にある団地においても、周辺に店舗がなく、またバス便などなく、高齢者や障がい者の方などタクシーを使つての買い物など不便を強いられています。</p> <p>1. 市内の「買い物に不便を感じている・買い物難民」の状況について、どのように認識されているのでしょうか。調査などされているのでしょうか。</p> <p>2. 全国の自治体では、解決のために住民・行政・企業で支える生活バス、地域を支える移動販売、オンデマンドバスなどが取り組まれています。市としても、今後ますます高齢化が進む中、早急に取り組まねばならない課題だと思ひます。市の考えを伺ひます。</p>	市長	

質問者	17 高野成俊
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 学校教育について (スクールヘルパー)	<p>1. スクールヘルパーの実態と教育委員会の評価</p> <p>2. 現在の学校側のニーズは</p>	教育長	

2. 地域交付金制度の導入について	各地区に地域独自の事業を展開できる、交付金（補助金）の制度の導入は出来ないのか。	市長	
-------------------	--	----	--

質問者	9 遠藤力一
-----	--------

質問事項	質問内容	答弁を求める者	記事
1. 貧困について	<p>1. 昨今「貧困」という言葉をよく聞くようになった、当市において絶対的貧困に陥っている市民は、何人いるのか、それはどのような構成となっているのか伺う。</p> <p>2. この貧困層へどのような手を差し伸べていくべきか、例えば、がんに罹患し経済的に立ち行かなくなっている年金暮らしの高齢者に対しては、どのような対策をとっているのか、就学援助を受けている世帯で修学旅行に行く場合、先に納めなければならない場合は、どうしたら良いのか、自助努力で克服できないこの層への対応は、どのように行われているのか伺う。</p> <p>3. 居住福祉という考え方について見解を伺う。生活保護世帯に支給される住居費では劣悪な環境に暮らさざるを得ない。劣悪な環境では貧困の連鎖が生じてしまう。突然のリストラに家をでざるを得ない人がいる。住こそ人間の暮らしの基本であるが、当市の居住福祉政策を伺う。</p>	市長	
2. 視覚障がい者用の「音声コードと読取機器」の導入は	<p>1. 視覚障がいの情報取得の切り札として期待される「音声コード」（SPコード）が、全国的に普及し始めている。公明党の推進で、障がい者自立支援法の円滑な運用をめざす特別対策（2006年度補正予算）に、音声コードを普及するための事業が盛り込まれたのが、きっかけだった。</p> <p>日本の視覚障がいは約30万人、病気を原因とする中途失明者の増加などにより、点字を利用できない人が全体の9割を占めているといわれている。</p> <p>ほとんどの視覚障がいは、各種の契約書や申請書、請求書、税金や年金、公共料金の通知、防災・防犯情報、行政サービス情報、医療情報など日常生活全般にわたって、その内容が分からず、著しい情報格差にさらされている。</p> <p>そうした格差を埋める技術として日本で開発されたのが、「音声コード」（SPコード）だ。視覚障がいの生活の質を向上させるため、一日も早い音声コードの普及が強く望まれる。</p>	健康福祉部長	

	<p>音声コードの活用と機器の導入について、出雲市の現状を伺う。</p> <p>2. 自治体職員対象の研修会は開催されているか伺う。</p> <p>3. 機器購入に100万円まで全額国費で補助、職員研修に30万円の補助が出る。この機会に是非取り組んでいただきたいが見解を聞く。</p>		
3. 出雲市役所のIT環境について	<p>1. 行政情報のデジタル化による文書管理と住民への公開の程度、行政手続オンライン利用率について伺う。</p> <p>2. 自治体クラウド化が進んでいるが、当市の考え方は。</p> <p>3. 公衆無線LANアクセスポイントを市役所に設置し、住民への利便性を高めるべきだが、意見を伺う。</p>	総務部長	

質問者	7 大 国 陽 介
-----	-----------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 中国電力島根原子力発電所について	<p>1. 3月末、中国電力島根原子力発電所1、2号機の123件にも及ぶ点検漏れが明らかになった。以前のトラブルも含め、中国電力との信頼関係は大きく崩れており、本市としても毅然とした対応が求められていると考えるが、いかがか。市長の見解を伺う。</p> <p>2. 4月2日付で知事及び中国電力に対して、安全管理の徹底、情報伝達体制の構築等の申し入れが行われているが、県や中国電力の姿勢が見えてこない。安全協定の締結などの申し入れ項目の実現に向けて、市の今後の対応を伺う。</p> <p>3. 2号機において、プルサーマル計画が進められているが、電力事業者と自治体、住民との信頼関係が成り立たなくなっている今日、プルサーマル計画の中止を求めるべきと考えるが、所見を伺う。</p>	市長	
2. 子育て支援充実を	<p>1. 子育て支援策及び少子化対策は、子ども手当などの現金給付にとどまらず、保育所の整備促進や労働環境の抜本的な改善、義務教育や高等教育等にかかる保護者の経済的負担の軽減など、総合的に行う必要があると考える。現在の社会経済情勢下における子育て支援、少子化対策についての市長の基本認識を伺う。</p> <p>2. 子育て支援策を強化するとともに、保護者の経済的負担、心理的負担を軽減する</p>	市長	

	ため、特に乳幼児医療費助成を拡大し、子どもの医療費無料化を中学卒業まで拡大することを求めるが、いかがか。		
3. 指定管理者制度の見直しについて	<p>1. 指定管理者制度が原因となり、低賃金と不安定雇用が生み出されており、もはや「労使間の問題」で済まされることではない。この制度が労働環境に与えている影響についての認識を伺う。</p> <p>2. 指定管理者に対し、対象施設の管理運営が適切に行なわれているかをチェックするのは当然のこととして、雇用環境についても調査し、改善に向けての手だてを講じるべきと考えるが、いかがか。</p> <p>3. 「官製ワーキングプア」の要因ともなっている指定管理者制度は労働者保護の観点からも抜本的に改善すべきと考えるが、所見を伺う。</p>	市長	

質問者	3 狩野正文
-----	--------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
道路の白線整備について	<p>道路にはセンターライン、横断歩道、速度、踏切、一時停止など様々な標示がなされている。これらは道路交通法により標示されているものと考えているが、車道の端に引かれる白線について次の点を伺う。</p> <p>1. 道路管理者が白線を引くものと思っているが、国・県・市の連携はどうなっているか。</p> <p>2. 車道の端に引かれる白線は何のためか。車道の幅を決めるためか。</p> <p>3. ほとんどの道路で引かれているが、ライン引きの法的根拠はあるのか。</p> <p>4. 排水口の縁や歩道の縁石から20cm離れたところ、農道などにもライン引きがなされているか。ライン引きの要件はどうなっているのか。</p> <p>5. 車道の縁のラインは車道幅を決めているなら、歩道側白線内は歩行者等の安全ゾーンなのか。</p> <p>6. 学校は新年度、交通安全指導を行っている。スクールゾーン、横断歩道の標示などは定期的に点検し、消えた個所を補修しているか。</p> <p>7. また、安全確保のために教育委員会から整備の強い要請がなされているか。</p>	市長	

質問者	18 広戸 恭一
-----	----------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
交通事故をいかにして無くすか、出雲市の取り組みを問う	<p>1. 交通事故発生状況を伺う。</p> <p>(1) 県内の交通事故</p> <p>(2) 出雲警察署管内の事故</p> <p>平成21年中の交通事故の特徴を伺う。</p> <p>(1) 路線別発生状況</p> <p>(2) 昼夜別発生状況</p> <p>(3) 道路形状別発生状況</p> <p>(4) 地区別発生状況</p> <p>(5) 原因別発生状況</p> <p>高齢者の事故</p> <p>(1) 高齢者関与人身事故件数</p> <p>(2) 原因別状況</p> <p>2. 上記の交通事故の発生状況を分析し、出雲市としてその対策と今後の方針を伺う。</p> <p>(1) 全般的な対策</p> <p>(2) 子どもの交通事故防止</p> <p>(3) 高齢者の交通事故防止</p> <p>(4) 交通安全施設の整備</p> <p>(5) 中学生、高校生の通学時などにおける、自転車の無灯火対策および交通ルールの厳守など</p> <p>3. 出雲市交通安全対策協議会と出雲地区交通安全協会の各事業（役割）と違いについて問う。</p>	総務部長	

	<p>4. 出雲市交通安全対策協議会の組織体制・出雲市の交通安全対策に関わる年間予算の推移を伺う。</p> <p>5. 交通指導員の人員数・各地区交通委員の人員数および、各地区交通安全対策協議会の主な取り組み状況や、特筆すべき取り組みなどを伺う。</p> <p>6. 出雲地区交通安全協会の加入率と協会会費はどのように使われているか問う。また、加入特典があるか、例えば協賛店での割引や、チャイルドシート貸出などその他具体的例。</p> <p>7. 道路行政と交通安全行政は密接な繋がりがあろうと思うがどのような考えか伺う。 (1) 通学路と道路側溝のフタの整備など (2) 排水路に沿った道路の安全パイプの設置など</p> <p>8. 交通安全施設や規制を申請した場合に、県公安委員会所管事項については、実施決定まで相当の期間を要しているとの声を聞くが、市として、早期実現に向けてどのような努力をしているか伺う。</p> <p>9. 電柱の地中化における昨年度の実行金額および本年度の予算と計画を伺う。 〔また予算負担の構成（国・県・市・電力会社）や、どのような箇所を対象としているか〕</p> <p>10. 提案として、今後新規の区画整理事業を行って造成される住宅団地には、交通安全の観点と景観の視点から、電線地中化を含めた共同溝を取り入れて整備してはどうか考えを伺う。</p>		
--	---	--	--

質問者	28 多久和 康 司
-----	------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 教育行政施策の一貫性について	<p>1. 教育行政施策の一貫性についての基本的な考えについて</p> <p>教育は、政治や経済の動向に左右されることなく大きな視点で教育を語り、見つめ、教育行政を行わなければ、次代を担う人づくりはできない、と言われていました。また、教育はたとえ首長が変わろうと教育長が変わろうとある程度一貫性をもった行政施策がなされるべき範疇のものであると思いますが、教育行政施策の一貫性について考えを伺う。</p>	教 育 長	

	<p>2. 出雲市学校事務支援センターが一年でもって廃止された経緯について 教員の事務負担軽減を図り、「日本一先生が子どもと向き合うまち出雲市」をめざし、もって小中学校の教育推進体制を強化するとして、学校事務の一部を市職員等が「学校事務支援センター」で集中処理及びサポートをすることで、学校事務職員の事務量を軽減し、学校事務職員に教員の受け持つ事務を学校事務支援センターに移行して、一年間やってこられました。なぜ一年をもってセンターが廃止されたのか、この詳しい経緯について伺う。</p> <p>3. スクールマネジャーの学校配置の引き揚げについて 学校と地域をつなぐ役割として、平成19年度に4名のスクールマネジャーが学校に配置され、20年度は5名、21年度は9名が配置されました。スクールマネジャーは、学校運営理事会との窓口になる学校側の事務局などを担当して地域とのかかわりなどがスムーズにゆくようになったとき(22年度)は学校の配置がなくなりました。せつかく先生が子どもとむき合う時間が多くなった矢先であり、22年度から先生に余計な仕事が増えている。成果が上がりかけての引き揚げはどうしてなのか、経緯について伺う。</p>		
<p>2. 出雲市の小中一貫教育の推進と今後について</p>	<p>1. 推進や活性化策の方法について 平成18、19年のモデル校における実践研究の成果を受けて、平成20年度から2年間にわたって、市内すべての中学校区において小中連携教育を行なってこられました。モデル校区から研究している校区と20年から出発した校区とでは、実践の質に差があると思います。市全体としての差を埋め、推進ならびに活性化させる必要がありますがその取り組み方法について伺う。</p> <p>2. 小中一貫教育の成果と課題について 生徒の問題行動が激減し、不登校も減少してきている。また、学力も向上してきているといわれていますが、どうした成果があり、課題があるのか伺う。</p> <p>3. 出雲方式の小中一貫教育と言われていますが、今まで進めてこられた連携教育研究とこれから必要とされる一貫教育の違いとこれからの取り組みについて</p> <p>4. 地域・学校・家庭の三者協働による子育ての取り組みについて 子どもは地域の宝であり、地域全体で取り組む必要があります。一貫教育を進めるうえでも大変重要であると思いますが、「出雲中央教育審議会」の人づくりプランなど地域との共有をどのように図られるのか伺う。</p>	<p>教 育 長</p>	

質 問 者	33 杉 谷 寿 之
-------	------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
市税等の滞納対策について	1. 平成22年度予算における歳入に市税滞納金(国保料金等を含む)の収納状況は、どのように反映されているか。 2. 滞納整理の計画と具体的な方策について	財 政 部 長	

質 問 者	22 萬 代 弘 美
-------	------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 航空自衛隊ブルーインパルスによる航空ショー協力について	1. 先般、初めて実施された「海原祭り」で航空自衛隊ブルーインパルスによる航空ショーが行われた経過および、市として協力を行った目的は何か。 2. 突然の騒音に驚いた市民も多かったが、騒音や安全上の不安についてどのような認識をもって協力されたのか。 3. 平穏な市民生活に不安を与える航空ショーは、平和を願う市のまちづくりにふさわしくない。今後、市として協力をを行うことはもとより実施すべきでないが、市長の所見を伺う。	市 長	
2. 生活立て直しのための生活福祉資金貸付けの活用状況と改善について	実施主体の社会福祉協議会の窓口で対応がされているが、相談に行っても受け付けてもらえないなど利用しづらい。「セーフティネット施策として低所得者に効果的に実施する」とした生活福祉資金改正の趣旨に照らして、貸付けの相談が合った場合、生活実態をよくみて生活立て直しに向けて積極的な活用を求める。 1. 現在の、相談実態と活用状況はどのようになっているのか。	市 長	

	<p>2. 相談があっても活用できない理由は、何があるのか。「県社協が認めない」といったような説明があるが、社会福祉協議会と自治体の担当課との連携を密にして、窓口で主体性のある迅速な対応が出来るようにすべきではないか。その他、問題があれば改善を行って、利用しやすい制度となるよう改善を求める。</p>		
<p>3. 子宮頸ガン予防へワクチン接種に対する助成と性教育を広げることについて</p>	<p>1. 子宮頸ガンの感染予防ワクチンに対する関心が高まってきている。子宮頸ガンで苦しんだり、命を落とす女性をなくすよう、だれもが予防ワクチンや検診を受けられるよう公的助成が必要である。国に対して定期接種を要望することと同時に、当面、自治体として助成を実施することを求める。</p> <p>2. ワクチン接種に効果的なのが、10代前半とされることから、この年代に、子宮頸ガンやワクチンの大切さを知らせ、あわせて学校でも親子でも、自分の体や性について学び、考える機会とすることが大事ではないかと考えるが、市長の所見を伺う。</p>	市長	
<p>4. 高齢者の生活支援について</p>	<p>一人暮らしや高齢者世帯が、多くなる中で、生活に困難を抱える人たちが増えている。地域に商店がなくなったことにより、買い物をするところが身近にないという切実な声があちこちから寄せられている。孤立化、健康上の問題にもつながる重要な課題である。</p> <p>1. 高齢者の置かれている問題を把握し、安心して住み続けられる総合的な支援を充実させるために、生活実態調査を行うこと。</p> <p>2. 高齢者が歩いて行ける日常生活範囲に、店がないところに対する行政として支援を行うこと。地域住民の声を聞いて、市街地などでも、空き店舗等を利用した商店の誘導を支援することや、中山間地域で、移動販売車を走らせるなど、地域の実情に応じた支援の実施を検討することを求める。</p>	市長	

質問者	24 米山広志		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 学校施設の耐震化	1. 2次診断実施校について 2. 耐震診断の結果について 3. その後の対応について	教 育 長	
2. 新出雲風力発電所	1. 出雲市と新出雲ウインドファームが取り交わした覚書（要望書）内容 2. 風力発電の再稼働の時期 3. 作業用道路がいつ出雲市に移管されるのか。	市 長	
3. 窪田保育所	1. 保育所の改築計画 2. 職員のトイレの改善	市 長	

質問者	32 珍部全吾		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 長岡市政一年間の 検証	長岡市政も丸1年経過したが、 1. 市長の市政に対する所感 2. 今後も明るさが見い出せない経済状況のなかで (1) 市の長期ビジョンをどう考えるか。(市民に対しどの様な夢を与えるか。) (2) 新産業の創出は	市 長	
2. 都市計画税につい て	旧出雲の用途地域に対し都市計画税が課せられているが、 1. 合併後5年経過した今日、出雲市全体での見直しは考えているか。 2. 目的税であるこの税の目的がはっきり見えないが、他の地域との違いを納税者に示すべきでは。 3. 斐川町との合併時に、この税の導入は。	市 長	

質 問 者	27 原 隆 利
-------	----------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 出雲市総合医療センターに関して	運営形態の在り方	市 長	
2. 新教育委員長に伺う	出雲市の教育行政の基本的在り方についての所感を伺う。 1. 出雲市教育行政全般の現状についての新委員長としての所感 2. 教育委員長任期1年の自動的交代について 3. 「教育基本法」並びに「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の本旨に照らし、出雲市教育委員会業務の一部補助執行について 4. 学校運営理事会の現状について 5. 児童・生徒の11%が就学援助を受けている現状について	教 育 委 員 長	

質 問 者	5 西 村 亮
-------	---------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 河下港開発と利活用について	1. 河下港振興会今後の活動 2. 港湾整備と活用 3. 維持管理、利用権 港湾利用の促進 4. 水、エネルギーの供給設備 5. 海上自衛隊（艦艇）の寄港、補給基地 6. 極東アジアとの交流、流通	市 長	
2. 原子力発電所の点検不備について	1. 中国電力の原発における維持、管理、体制 2. 防災対策とEPZ 3. 隣接自治体と地域振興策	市 長	

質 問 者	8 松 村 豪 人
-------	-----------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 海岸漂着ゴミの撤去対策について	<p>海岸漂着ゴミ対策については、昨年7月の海岸漂着物処理推進法の施行により、対策に向けて前進したところである。その後の状況について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 県の海岸漂着物対策推進協議会では、どのような議論がなされているのか。 2. 本市での処理重点区域はどこか。 3. 知夫村では「地域グリーンディール基金」を活用した撤去対策事業を開始する。本市ではいつ頃になる見通しか。 4. 本市単独事業での対応は 	市 長	
2. 北東アジアとの経済交流について	<p>環日本海時代における、本市と北東アジア地域との経済交流、観光交流について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市長の所見 2. 今後の展望、具体的な活動方針 3. 浦項市との国際航路開設について、その後の動向は 	市 長	

質 問 者	6 小 村 吉 一
-------	-----------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 青少年の健全な成長のために - ひきこもり、ニートなどの支援を中心に-	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本市における青少年のひきこもり、ニート、不登校（義務制は除外）の数とその現況について問う。 2. 「ぷらりねっと」など、本市での対応について、その様子、成果、課題などについて問う。 3. 今後、本市として、この問題について、どのように対処するのか、計画・構想について問う。 	教 育 長	
2. 広報「いずも」について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 広報「いずも」発行の目的は。また、それは市民に対して“住民自治”の立場より、どのような役割、位置を占めるのか。 2. 広報「いずも」の配布の形態とその実態について問う。 	市 長	

	3. 広報「いずも」は、市政と住民をつなぐ、重要な懸橋、全戸に配布すべきものと考えらるかどうか。		
3. 家畜伝染病「口蹄疫」について	1. 本市における“偶蹄類家畜”の農家数、頭数、生産額、農業生産に占める割合など、その実態は。 2. 現在、この問題について、行政、民間を含めて、どのような対応がされているのか。 3. 本市としては、どのような対処をしているのか。また、今後の対策、対応について伺う。	市長	

質問者	1 飯塚 俊之
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 中国からの観光客誘致と経済効果について	1. 本市への海外からの観光客の動向 2. 本市の貿易状況 3. 中国市場の評価（観光面と経済圏） 4. 現在の取り組み 5. 今後の取り組み	市長	
2. 愛宕山公園の整備方針について	1. 愛宕山公園の位置づけ 2. 現在の愛宕山公園の整備状況 3. 今後の愛宕山公園の整備方針	市長	
3. いずも医療カードについて	1. 実証事業の取り組み 2. 今後の取り組み	市長	

質問者	12 板倉 一郎
-----	----------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 出雲市、斐川町の合併について	合併について 1. 合併協議会の進捗状況について伺う。	市長	

	<p>2. 合併協議のうで大きな問題となる事項はなにか伺う。</p> <p>3. 合併期日までのおおまかなスケジュールについて伺う。</p> <p>4. 住民に対する説明は、どのように考えるのか伺う。</p> <p>5. 斐川町の合併に不安をいだく方々などに対して市長が、その不安を取り除くため直接話しを聞くことが必要であると考えているが市長の考えを伺う。</p>		
2. 出雲市の健康保養施設などに対する市民割引制度などの導入について	<p>1. 出雲市の健康保養施設などの利用料は年齢による設定があるが、市民と市民以外の方との料金には差がない。市民がより多く利用するために利用料を下げたいとの声がある。そこで、市民割引制度の導入について考えはないか伺う。</p> <p>2. 障がい者に対する割引は、施設によりまちまちである、良い制度のほうへ統一すべきと考えるが市の考えを伺う。</p>	市長	

質問者	4 木 佐 宏
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 内閣総理大臣が発令する原発災害避難訓練に対する市長の見識を問う	<p>島根原子力発電所の事故を想定し、島根県が関係機関と連携して行う「島根県原子力防災訓練」は島根原発から10km圏内に所在する伊野地区において、「出雲市原子力防災訓練」を立ち上げ、一昨年より住民参加による緊急避難訓練が実施されている。これは、「内閣総理大臣が原子力緊急事態宣言を発出し、原子力災害対策本部を設置」事態の推移に応じ、警察、消防、海上保安庁の部隊派遣及び自衛隊の原子力災害派遣を行う」などと、重厚濃密な訓練プログラムを策定、実施されつつある。</p> <p>地合町から美野本線経由で国道431号に走り、1秒でも迅速かつ、原子力発電所から遠くに避難する事が肝要であり、松江市においては、大橋川、第5大橋工事で市街地東部の避難道事業は終了し、既に鹿島町古浦から長江町地内で国道431号へ進入する避難ルート構想事業が進められている。当市は旧平田市時代から国道431号から美野本線間でのバイパスルートを確定、既に膨大な費用を投入実施詳細設計も完了している。更には県河川の伊野川を渡り、松江市の大野本線間で延長ルートを提言し、松江市、出雲市の市長部局と情報交換し、早期実現を目指し、島根県土木部はもとより島根県防災対策室を通じ溝口知事にも提言構想ルート図示地図を差しあげている。内閣総理大臣発令の原発災害避難訓練を重ねながら、可及的課題である避難道路事業推進に対する姿勢が見えない、市長を先頭に斐川町も含む出雲圏域の県・市議</p>	市長	

	<p>会議員も一丸となって、事業推進へ邁進すべきと考える。そこで市長の危機管理認識を伺いたい。</p>		
<p>2. 平田消防署の改築について提言する</p>	<p>平田消防署の改築が急がれるとの事であるが、所管セクションでは如何様な構想を構築なされているか、下記に具体的に自説持論を呈し提言する。</p> <p>1. 消防車が火災現場に如何に早く到着、消火作業に当たれるかを第一義念頭に、場所の選定に当たるとするならば、移転場所は新田町5450番地1の場所は、現況は水田であるが地積が2,700㎡の三方が道路に面し、国道431号の新旧道路に挟まれかつ一面は、市道湯谷川飯山線に面し、東西南北への緊急出動の出入りには最適地、新出雲市の最東北端伊野地区地合町は平田消防署から16kmと遠い、提言地はかなり東寄り、所要時間の短縮に寄与できるベストな位置と認識する、選択肢最優先に検討を。</p> <p>2. 救急車については、松江市秋鹿町地内・県道平田松江線沿いに設けられている、分駐署方式がベストと認識する。消防自動車は火災現場までの片道所要時間が問われるが救急車は、往復の時間が問われる、片道2分は4分の問題、病院到着1分が生死の境界線とまで言われるシビアな世界、救急救命には万全を期した施策を願う。</p>	市長	
<p>3. 出雲市内内水処理計画見直しについて</p>	<p>先般6月1日、建設水道委員会協議会で配布された資料を拝見、平田湯谷川水系の浸水地帯資料みて啞然とした。全く実態状況を反映されていない。宅地水田6戸の調査年月と根拠を示されたい。「平成の世直し人」は数十年一帯、エリアをパトロールしているが、到底容認できないし怒りを押さえる事ができない。</p> <p>かような調査資料をもとに、湯谷川改修を思考されるから、中町界限の住民を30数年にわたり不安に陥れ、素知らぬ顔で市長だ、県議だ、市会議員だと安閑として居座られる。「平成の世直し人」木佐宏は、市街地の湯谷川改修を中途放置し、理不尽なる国富地区における、利権からみの国道拡幅、湯谷川移設を命懸けで阻止する事を改めて宣言するものであります。</p> <p>市街地における湯谷川拡幅改修エリアの当事者及び親族類者の皆々様が納得される説明をもとめる。</p>	市長	